

サポートで大切にしていること

逮捕になり罪の中にいる時も、社会復帰後も同じ人が関わる。罪を犯した本人も、保護者もサポートを行う。罪を犯した経験のあるスタッフと、経験のないスタッフがチームになる。障害があっても、なくてもサポートを行う。再犯を行っても、面会、文通、サポートを行う。サポートが終わっても、細く長く関わる

特に大切にしていること

- ①「自死にならない」ように、逃げ道を残しながら関わる
- ②「再犯にならない」ように、犯罪以外の色んな生き方や選択肢、活用できる制度を、一緒に考えて、共に歩む。
- ③「無断退去、連絡が取れないようにならない」ように、ルール違反をおこなっても、細く長い関わりをチームでおこなう

親の会「あかねこ」

一人で抱え込まないで。非行した我が子を目の前に、悲しみと不安に押し潰されそうになりながら自分を責め、ただおろおろと途方に暮れていた。それでも明日はやってくる。全てを否定され、世間から取り残されたような孤独感と絶望感を経験し、親が安心して何でも話せる居場所を作りたい想いで発足した再サポ親の会「あかねこ」

専門家が居るわけではありませんが、同じ立場の親たちからこそ、子育ての大変さや置かれた環境の影響などを、誰に責められることなく本音が話せ、また他者の体験を聞きながら、明日の活力を見いだし、子どもとの向き合い方を見つけていくところです。



日 時	毎月第3土曜日10:00～12:00
場 所	アロマファレスト
場 所	名古屋市千種区今池4-16-27
住 所	くどうビル2Fまたは4F
最寄り	地下鉄「今池駅」④出口徒歩3分
(駐車場はありませんので車でお願いの方は近隣のコインパークをご利用ください)	

初回参加費は無料。再サポ会員(年会費3000円)さんはいつでも参加費無料です。気軽にここ参加ください。

法人概要

○設立：2014年3月30日
(NPO法人認証は、2014年8月8日)
○理事・スタッフ・監事 合計16名
(全員、有償ボランティア)
非行経験あり2名、非行経験なし14名(保護司3名、我が子が非行経験あり2名、医療や福祉職、弁護士、自営業、教師など)、男女比：男性5名、女性11名。
○サポート人数(令和5年8月時点)
150名を超える。社会内サポート65名以上、住まいのサポート85名以上

※サポート中の再非行・再犯は、約1割。

○感謝状等の受賞

第49回社会貢献者表彰、第6回守屋賞、第12回作田明賞、第73回社会を明るくする運動 名古屋矯正管区長、

2023年度安全なまづくり活動表彰



電話・メール相談・無料!

TEL:080-2636-7183(事務局)

MAIL:saihikouboushi_aichi@yahoo.co.jp

名古屋守山区元郷2-105

正会員(年3,000) 賛助会員(年10,000円)
ご寄付を随時、受け付けております。

■振込先

ゆうちょ銀行

【支店名】ニー八(ニイチハチ)【口座番号】(番)8380176

【口座名】特定非営利活動法人 再非行防止サポートセンター愛知

一人で抱え込まずにお気軽にご連絡下さい!
これから先のことを一緒に考えましょう。

再サポ

Q 検索



NPO 法 再非行防止
サポートセンター愛知

NPO法人

再非行防止
サポートセンター愛知



サポートの流れ

① 電話、または、メールでお問い合わせ
ご相談は、保護者、支援者、本人等から受け付けています。

② 面談
面談場所は、主に名古屋市内で、事務所、または、ご指定の場所にておこなわせていただきます。

③ 保護者向けサポート
電話、メール、面談。親の会「あかねこ」

④ 施設内サポート（面会・文通）
スタッフが、本人と、面会・文通

⑤ 社会内サポート
本人が社会復帰後に
親元に帰る場合

⑥ 住まいのサポート
本人が親元に帰る場合
が難しい場合

⑦ アフターケア
サポート終了後は、アフターケアとして、細く長い関わり。

※現在、矯正施設等に入っていない場合も、サポート可能です。
原則、サポート料金は無料。但し、④については交通費等の活動費を
いただくことがあります。少年が鑑別所に措置中にスタッフが付添人
になる場合も活動費をいただきます。

再非行防止・再犯防止サポート内容



自立準備ホームの様子

再非行防止サポートセンター愛知の自立準備ホームの部屋。
原則、1つのアパートに1Kを1室ずつ借りて、点在。
毎日スタッフが部屋を訪問、食事等の提供。
着の身着のままでも、生活に必要なものは全て準備。



施設内サポート・社会内サポート

少年鑑別所や、少年院に、スタッフは面会に通い続けます。
文通もおこないます。
社会に帰った時には、一緒にご飯を食べたり、仕事を探したり、通信制高校入学から卒業のサポート、法的トラブルがあり、通いの弁護士事務所同行、病院同行、区役所同行などを、本人の本音と希望を基におこないます。



再非行防止サポートセンター愛知 理事長挨拶

NPO法人再非行防止サポートセンター愛知（以下、再サポ）とは、非行少年や罪を犯した青年たち、その保護者へのサポートをおこない、再非行・再犯を減らし、被害者を増やさず、笑顔を増やすことを目指している団体です。

2014年に設立してから、サポート方法などの見直しを何度もおこなってきました。

罪を犯したあとに住まいがない時に、スタッフが自分でも住みたいと思えるようなホームが必要と考えて、2015年12月から、自立準備ホームを開所しました。既存の施設は、ルールが親元に帰る人より多くて集団生活になることが多かったため、原則1棟のアパートに1室を借りて1人暮らしのサポート付きタイプとしています。1人暮らしの練習という意味も込めています。我が子の非行・犯罪について1人で悩んでいる保護者向けの親の会がなかったため、2022年10月から「再サポ親の会・あかねこ」という居場所を月に1回、開いています。

連携法人には、全国の自立準備ホーム事業者や、犯罪歴を承知の上で雇用してくれる雇用主や、少年院在院中から入学の受け入れをしてくれる通信制高校や、罪を犯した障害のある人に対する支援をおこなう障害福祉の事業所があります。

スタッフは、全員が有償ボランティアとして活動しています。本業の仕事ではないからこそその真心のこもったチームであることを自負しています。

僕自身の活動の根源は、元非行少年だったことです。被害者が存在する事実、加害者であった事実、その過去は決して変えることができません、一生、無かったことにしてはいけなと自分に強く言い聞かせています。

僕たちに、できること、やらせてもらえること、やるべきことを、今日も、10年後も、その後も、1人でも多くの皆様と手を合わせていながら、継続していききたいと思っています。



2023年8月15日
NPO法人再非行防止
サポートセンター愛知
理事長 高坂朝人